

中根小の自然

第 11 号 2008 年 7 月 15 日

< 学校北～東通学路で見かけた植物～その 2 > 北～東側通学路の樹木紹介、続きです。

ナンテン(メギ科) *Nandina domestica*



「難を転じて・・・」に通じるからでしょうか、庭にもよく植えられています。ハナバチやハナアブの仲間がよくやって来て、蜜を吸っては花粉を運び、種子づくりのお手伝いをします。果実をヒヨドリなどの鳥が食べてしまい悔しい思いをすることもあります。鳥は糞の形で種子を遠くへ運んでくれ、そこでナンテンの子が芽生え育っていくのです。花のつくりも変わっていて、おもしろいですよ。

ニシキギ(ニシキギ科) *Euonymus alatus*



花 2006/5/16 つくば市

枝から板のような翼が出ていますね。病気などではなく、これがこの木の特徴なのです。よく観察してみると、この翼の出かたに規則性があることが分かります。どんな規則性かって？それはあなた自身が観察して見つけま

しょう。右はつくば市内で撮った花の写真です。花は淡緑色で目立ちませんが、葉は秋に真っ赤に紅葉し、「錦木(にしきぎ)」の名にふさわしくなります。

ニワウルシ(ニガキ科) *Ailanthus altissima*



オスの木とメスの木があり、中国原産ですが、土手などで野生化しているのを時々見かけます。枝や葉が傘形に広がるのが特徴ですが、果実がまたおもしろい。どこがおもしろ

同日、牛久市中央図書館

いかって？ それは・・・、秋のお楽しみ！

【理科支援員 宮内】